

第22回  
平成19年度

地域に根づく歴史や文化を活かしながら、  
人々のこころに残る新たなふるさとを創造する。  
「手づくり郷土賞」は、そんな魅力的な地域づくりを応援しています。

ふるさと

# 手づくり郷土賞



# ホタルが飛び交う

上谷戸親水公園の周辺である上谷戸地区は、谷戸に「水」と「緑」と「道」によって、秩序づけられた集落での骨格となるように整備していくことを基本方針としています。

上谷戸地区中心部を流れる上谷戸川とその周辺の水田、竹林、屋敷林等を残し、自然観察や水遊びができる親水公園として整備を進めてきています。

また、水路の護岸は自然石を使い、動植物にやさしい設えとして、環境にも配慮しています。

これを受け、地域住民によるホタルの復活を目的に、

上谷戸親水公園



体験学習館5月人形展示



竹の子堀



平成19年4月に「上谷戸ホタルの会」が結成され、活動しています。そして公園内に設置された、体験学習館を活用して、雛人形や5月人形の展示、野菜の栽培、餅つき、竹の子堀などの行事も行われています。

上谷戸地区の周辺は、多摩ニュータウンの新市街地に囲まれていて、ニュータウン地区と既成市街地と住民の新しい交歓の場となるように整備しています。周辺地区と一体となった、これらの公的空間の整備を基幹として、私的空間の整備を誘導しつつ、上谷戸地区の新しい地区景観『上谷戸らしさ』のある新しい『都市美』の形成を行っています。

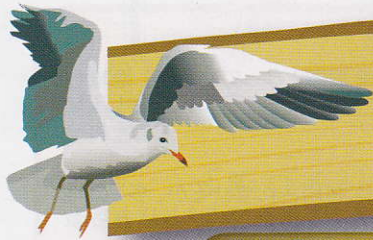


## 会長の声



坂浜自治会長  
中山 哲夫さん

「より良い交流の場所として」  
規制をしないで、人の善意を信じているからこそ、いろんなイベント等が開催できるので、どこにだしても自慢できるような交流の場にしたいと思っています。



都鳥：ユリカモメ

かさや と しんすいこうえん

# 上谷戸親水公園

坂浜自治会管理運営委員会

地域整備部門

周辺の屋敷林・竹林・梅林の保全



## 地域資源の活用は？

緑豊かな斜面緑地に囲まれた地区で、川沿いには水田が開かれ、段丘の中腹をはしる道沿いには、生垣や屋敷林、竹林、梅林に包まれた集落が静かなたたずまいをみせています。

上谷戸地区は、多摩ニュータウン区域に編入されていましたが、地域特性を活かしたまちづくりを進める為未整備区域となり首都圏近郊では、まれな郷土景観を保っています。

## イベント情報

- 雛人形展示  
2月中旬～3月上旬
- 鯉のぼり・5月人形展示  
4月中旬～5月中旬
- 麦の植付け体験  
4月中旬
- 秋の収穫祭  
11月上旬
- 暮らしフェスタin上谷戸  
11月17日
- 正月飾り展示  
12月中旬～1月上旬

- DATA
- 所在地：東京都稲城市若葉台
  - 応募者：稲城市都市建設部緑と建設課 TEL:042-378-2111
  - 交通：京王相模原線若葉台駅下車 徒歩10分

## 環境への配慮は？

流路はなるべく自然形態を残し、護岸は自然石を使用した空積みとして、動植物の生息空間に配慮しています。また、平成18年度より地域の住民が中心になって、ホタルの育成を行い、本年6月には毎夜数百人の方々が観賞に訪れています。



自然石を使用した空積



ホタルの幼虫とカワナナの放流